

入場無料

若者子どもの社会保障を考える

～分断社会を終わらせる「だれもが受益者」という戦略～

昨今、「下流老人」「奨学金地獄」など、世代を問わず貧困問題に関わる新語が生み出され、現役世代、老後世代の貧困の実態が、子ども・若者にとって、自分自身の将来に対するネガティブなイメージの要因にもなっています。一方で、様々な分野で、未来への希望を求める若者の運動も広がってきています。

本シンポジウムでは、貧困問題と国の財政問題の視点から、若者が未来に希望を抱くことができる社会に向けて「いま私たちに何ができるのか」を、ともに考えていきます。

日時

2018年

6月22日(金)

17:30～20:00

場所

11階

天神ビル10号会議室

〒810-0001 福岡市中央区天神2-12-1

基調講演



講師：
井手 英策 教授
(慶應義塾大学経済学部教授)

▶ 講師プロフィール

専門は財政社会学・財政金融史。近著に財政の視点から貧困問題を解説した「18歳からの格差論—日本に本当に必要なもの」(東洋経済新報社・2016年)「財政から読みとく日本社会—君たちの未来のために」(岩波ジュニア新書・2017年)等がある。

基調報告

講師：**猪股 正** 弁護士
(日弁連貧困問題対策本部副本部長)

▶ 講師プロフィール

埼玉弁護士会所属。第61回人権擁護大会シンポジウム第3分科会実行委員。本年の人権擁護大会に向けてスウェーデン視察(6月)に参加するなど、実行委員の中でも中心的に活動している。最新の視察報告も予定。

座談会

パネリスト **井手 英策** 慶應義塾大学教授
猪股 正 弁護士・埼玉弁護士会
コーディネーター **星野 圭** 弁護士・福岡県弁護士会

お問合せ先  福岡県弁護士会 TEL 092-741-6416

【主催】福岡県弁護士会 【共催】日本弁護士連合会